



発行所 磐城日日新聞社 編集長 梅野隆

△権力に屈せず言論の自由を守る △公平な批判、公明な報導 △『今日の主張』をもつて本紙の社説とし基本的人権を擁護する

### 港灣整備促進と

#### 橋型ダレーンの運営を審議

##### 小名濱新港舎に初評議会

小名濱港舎促進同盟(会長大竹作蔵氏)は五日午後一時から小名濱町役場町長室に於て新港舎橋型ダレーンの運営を審議した。小名濱港舎は最近建設が完了した。明るい光線の多い部屋で何もかも新しいので却つて更なる古い顔が古ぼけて見えぬ位である。しかしどの顔も眼の色も輝いている。

## 1954年の課題に

### 新春を呼吸するもの

#### 小名濱の巻 ②

この輝きは決して光線のためでなく、ボースを貰ったためでなく、新しい仕事場、仕事を開け、町民への奉仕精神の現われと思われ。ところで、この新しい輝

この輝きは決して光線のためでなく、ボースを貰ったためでなく、新しい仕事場、仕事を開け、町民への奉仕精神の現われと思われ。ところで、この新しい輝



### 志賀、立花の裸像

#### 告示は十一日迫る町長選

治形態が、政治家がその原則に先願することは原則的に正しいことである。立花氏がこの自覚のもとに出発し、新選水戸閣と認める保守的打撃によって、特定の利益階級を一町民並に引下ろし公平な町民権の確立に挺身する信念に立脚した人物な



### 町長に人格者を

#### 町議に出ず 長瀬聲明

小名濱港舎長、長瀬誠一は五日町長選挙と町議に不出し、町長選には一町民として投票する。一方、志賀陣の言われてる清水閣、これが果して今日現存し、政治界の革新を持つていようか、否かによつて町議に不出し、町長選には一町民として投票する。

一切の運動をしない、町議選には出ない、と聲明書を發表した。長瀬誠一

謹賀新年 海上保安協会福島縣支部 日本水難救済會福島縣支部 小名濱海難救済會

現に清水閣一統にも小野信一氏の如き紳士も嚴存し、志賀賢平氏も清水閣の如何なる關係にあるか知らぬが、假りに一門中であつたとしてもその中、志賀は、何等のマイナスとなるべきではない。寧ろ喜ぶべきである。私は個性を信する者であり、たとえ良貨が悪貨に混ざりても、種々の距離が傳える裏証面から、メンドレル法則は今日依然として、悪的の子が悪行しやうい特許を受けついでいることを實証しては行かない。

久保田産婦人科 院長 久保田眞一 助産婦 久保田イネ

南海荘 小名濱町相子島 家族連の行楽に! 団体の慰安に!

友太郎 友太郎 友太郎 友太郎

3、6日迄 同時上映 縣下獨占第一回封切 復讐は俺に任せろ 風雲八萬騎

